

山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

新作インスタレーション展

「バニシング・メッシュ」

2017年2月18日(土)～5月14日(日) 10:00～19:00 入場無料

※地下スペースは土日祝のみ公開、3/23～3/30スタジオA作品のみメンテナンスのため閉鎖

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、スタジオB、ホワイエ、地下スペース

ポストユビキタス社会のアートの知覚 —

2組のアーティストが大規模な作品を発表。メディアアートの今を刷新する展覧会を開催！

山口情報芸術センター [YCAM] は、2組のアーティストによる新作インスタレーション展「Vanishing Mesh (バニシング・メッシュ)」を開催します。

バニシング・メッシュとは、技術革新によって見えなくなっていく様々な境界線や囲いを暗示しています。どこにいてもネットワークに接続できるユビキタス社会の実現は、スマートフォンの普及により加速し、時間や場所を問わず、多種多様な情報にアクセスできる環境を私たちにもたらししました。

本展覧会は、進化するIoTなどに即時に適応していくポストユビキタス社会において、テクノロジーを導入した芸術表現の刷新によって、現在の情報環境を批評していく試みとなります。

会場に置かれた日用品にインターネットを介してログイン（憑依）することを可能にし、無機物であるはずの日用品が、意思を持ち行動することで発生する未知の関係性を観察する、菅野創+やんツのインスタレーション。また、結成15周年目を迎えるサイン・ウェーブ・オーケストラは、3つの新作を公開予定。これまでの実践を自己批評し新しい可能性を提示します。2組のアーティストによるメディアアートの今を、是非この機会にお楽しみください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



「Vanishing Mesh」展メインビジュアル

■ YCAM 委嘱作品について

YCAMでは、さまざまなタイプのアーティストとともに「委嘱作品」として新作を公開しています。作品のテーマや課題の提案から構想を立ち上げ、YCAMの空間の特徴や機材など環境を踏まえながら、未知の体験や考察を促す作品を内部の研究開発チーム「YCAM InterLab」と共同開発で生み出しています。

作品プラン

菅野創+やんツー

アバターズ
「Avatars」

本作は、電話やカラーコーン、石膏像、車、植物など大小さまざまなオブジェクトで構成されるインスタレーション作品です。空間に配置される日常的なオブジェクトには、カメラ、マイク、モーター、小型コンピューターなどが組み込まれ、インターネットに接続されており、鑑賞者はウェブブラウザから各オブジェクトにログイン（憑依）して作品を体験することが可能です。自分の身代わりとして存在するアバターは、仮想空間ではなく物理法則が支配する現実空間に存在し、そこには生身の人間（観客）も存在します。IoTに代表されるようにあらゆる物がネットワーク化され、人工知能が成熟しようとしている現在、自律性を持たない無機物である物たちが、意思を持った者となり世界を知覚し動き出した時、そこに立ち上がってくる新たな関係性を観察する作品です。



滞在制作の様子

サイン・ウェーブ・オーケストラ

「The SINE WAVE ORCHESTRA stA」(仮)

これまでの作品の根幹であった直接的な観客の参加の意味を、「参加型アート」が一般的になった現在改めて問い直します。様々な人々の手により自由に形作られた情報を素材とし、一つのサイン波に視覚・聴覚的に還元されたそれらの集合から、訪れた人々は各々のシグナルを読み解きます。

「The SINE WAVE ORCHESTRA stB」(仮)

訪れた人が一つずつサイン波を空間内に配置することで、それらの音が互いに重なり合い、会期を通じて変化しながら鳴り続けます。「The SINE WAVE ORCHESTRA stay」(ICC/2005)などでの試みを大きくアップデートした作品です。

「The SINE WAVE ORCHESTRA basement」(仮)

YCAMの地下へと繋がる空間で展開される作品です。空間の特性によって導き出された特定の周波数のサイン波によるバリエーションが複数のスピーカから鳴っています。その音は、聴取する位置によって動的に変化し、訪れた人それぞれに対し個別の体験を生み出します。



2010年に発表した「in the sun」(参考画像)

「The SINE WAVE ORCHESTRA stB」
観客が会場内で取り付けることが出来るデバイス

プロフィール

菅野創+やんツー

Photo by Gottingham

2011年から菅野創+やんツーとして共同制作を開始。第15回文化庁メディア芸術祭アート部門にて二重振り子の動きを利用し作画するドローイングマシン《SENSELESS DRAWING BOT》が新人賞を受賞。主な展覧会として第15回文化庁メディア芸術祭(2012)、メディアシティソウル(ソウル市美術館/2012)、札幌国際芸術祭(2014)、ICC Open Space(2015)、あいちトリエンナーレ(2016)など。

菅野創(かんの・そう)

1984年生まれ。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)メディア表現研究科メディア表現専攻修了。テクノロジーを駆使しながら、シグナルとノイズの関係やエラーやグリッチといったテクノロジー特有の事象にフォーカスする。自分が見てみたいもの、観察したいものを実現するために作品を制作している。

やんツー

1984年、神奈川県生まれ。多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。デジタルメディアを基盤に、グラフィティやストリートアートなど公共圏での表現にインスパイアされた作品を多く制作。

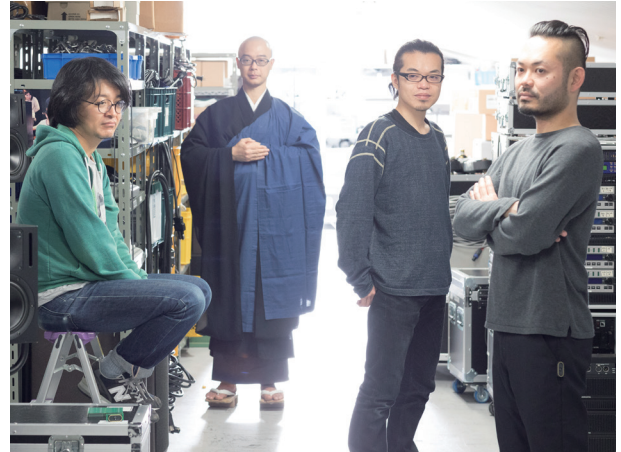
サイン・ウェーブ・オーケストラ

Photo by Gottingham

サイン・ウェーブ・オーケストラは、2002年に4人のコアメンバー、古舘 健、城 一裕、石田大祐、野口瑞希によって始められたプロジェクト。音の最も基本的な要素といわれるサイン波、を参加者一人一人がそれぞれ一つだけ使うことができるというルールのもと、サイン波による集合的な音表現としてパフォーマンス、展示を展開。主な展覧会としてNTTインターコミュニケーションセンター(2004, 2005)、横浜トリエンナーレ(2005)、MART(イタリア/2006)、LNMM(ラトビア/2006)、Edith Russ Haus(ドイツ/2010)、東京都現代美術館(2013)、恵比寿映像祭(2015)など。

開催概要

バニシング・メッシュ

2017年2月18日(土)～5月14日(日)

10:00～19:00

火曜休館(祝日の場合は翌日) 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、スタジオB、ホワイエ、地下スペース

※地下スペースは土日祝のみ公開

※3/23(木)～3/30(木) スタジオA作品のみメンテナンスのため閉鎖

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成28年度文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団

機材協力：フォステクスカンパニー

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

■ オープニングライブ

2017年2月18日(土) 18:30開演(18:00開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

定員：先着100名 ※お申込不要

料金：無料

オールスタンディング

出演：古舘健(The SINE WAVE ORCHESTRA)、石田大祐(The SINE WAVE ORCHESTRA) ほか

本展覧会で作品を公開するサイン・ウェーブ・オーケストラのメンバーにによるスペシャルライブを開催。オープニングを盛り上げるサウンドイベントに乞うご期待！

■ アーティストによるギャラリートัวร์

2017年2月19日(日) 14:00開始

集合場所：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

定員：先着30名 ※お申込不要

料金：無料

作品を制作したアーティストとともに展覧会を巡り、作品の背景にある技術やコンセプトについて、デモンストレーションを交えながらディスカッションをおこないます。

■ ギャラリートัวร์

2017年3月4日(土)、18日(土)、4月1日(土)、15日(土)、29日(土)、5月13日(土)

各日14:00開始

集合場所：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

料金：無料 ※お申込不要

ファシリテーターとともに作品を体験しながら、鑑賞のポイントを発見し、参加者同士でディスカッションをおこなうギャラリートัวร์です。

菅野創+やんツの作品をウェブサイトから体験しよう！

2月18日(土) から公開

ウェブサイト：

avatars.ycam.jp

本作は、電話やカラーコーン、石膏像、車、植物など大小さまざまなオブジェクトで構成されたインスタレーション作品です。オブジェクトにはカメラ、マイク、モーター、小型コンピューターなどが組み込まれ、インターネットに接続されており、鑑賞者はウェブブラウザから各オブジェクトにログイン(憑依)して作品を鑑賞することが可能です。